

第7回

DTM講座

～楽器の知識②～

目次

1. ピアノ
2. ギター
3. ベース
4. ブラス
5. ストリングス
6. リード
7. シンセ系統
8. ドラム
9. 民族楽器
10. その他
11. 最後に

7. シンセ系統

まずシンセの種類の前にシンセ系統全てに言えることがあるので説明しときます。

シンセの音は人工的に様々な音を合成して作られた物なので今まで紹介した生楽器のものと違い、音域の定義はありません。

なので、本当に自由な音の高さで鳴らしてもいいことを覚えておいてください。

あと、これは私自身の話ですが、私はDTMでは基本的に生楽器系統の音を使うのでシンセ系統の細かいエディット等について深く知りません。

なので、そのシンセの特徴についてのみ説明していきますので、シンセに使う用語につきましては個人で調べてください。

- Square Wave

「短形波」という波形で出来た音で、シンセ系統の中ではメロディーに適しているシンセ・リード系の一つ。

- Saw Wave

「ノコギリ波」と呼ばれるノコギリの刃のような形をした波形の音で、基本的には和音ではしようにせず単音でメロディーを鳴らすシンセ・リード系の一つ

- Syn. Calliope

「カリオペ」と呼ばれる蒸気を利用したオルガンの音をシミュレートした音、シンセ・リード系の一つ

- Chiffer Lead

アタック（出始め）に特徴のあるシンセ・リードの音歪んだ音がするので使いかたがちょっと難しい（と思う）

- Charang

歪みのかかったギターの音をシミュレートした
シンセ・リード系の音、民族楽器に「チャランゴ」という
楽器がありそれを似せた音とも言われてる。

- Solo Vox

名前のとおり、人の声をシミュレートした
シンセ・リード系の音、バックコーラスとして使用される事
が多いみたいです。

- 5th Saw Wave

名前のとおり、「ノコギリ波」の音のシンセ・リード
上記のものと違い一つの音をならすとその音から5音上の
音も同時になるが、基本的にソロ楽器と考えて問題ないです。

- Bass&Lead

ベースとリードの合わさったシンセ・リード系の音。
低音ではベース、中音ではソロに向いた音。

- Fantasia

元々はローランドのシンセに収録していた音
シンセ・パッド系の音で代表的な音です。

- Warm Pad

名前どおりに暖かさをイメージしたシンセ・パッド音
基本的に和音専門で音と音の隙間を埋めるのに最適な音。

- Poly Synth

シンセでのプラス系の音を出したシンセ・パッド音
派手目の音で、和音、単音ともに使える音です。

- Space Voice

合唱を模したシンセ・パッド系の音
広がりが強く奥行きを出せる音になっています。

- Bowed Glass

名前のとおり、ガラスを弓でこすった音のする
シンセ・パッド系の音、透き通った綺麗な音が出る。

- Metal Pad

金属的な音をもつシンセ・パッド系の音
アタックが遅く終わりが長い音になっている。

- Halo Pad

人の声を模したシンセ・パッド系の音
ちなみに「Halo」とは後光という意味（らしい）

- Sweep Pad

車のワイパーのイメージから名前のついた
シンセ・パッド系の音。音が近づいてきて、離れていくとい
う特徴的な音を持っている。

- Ice Rain

パッド系の音の中で音がなっている

シンセ・S F X系の音。ちょっと使うのが難しい。

- Sound Track

ローランドのシンセに収録されていた

シンセ・S F X系の音。映画音楽にふさわしいからこの名前がついたらしい。二つの音程がなるようになっているがコードを弾く事が出来る変わった音色。

- Crystal

水晶をイメージしたシンセ・S F X系の音

硬めの音であり、悲しい感じを出す音になっている。

- Atmosphere

空間の意味を持つシンセ・S F X系の音

アコースティックギターのような音を出す。

- **Brightness**

名前どおり輝かしい音をもったシンセ・S F X系の音
中音域から上で使用され低音ではまず使われない。

- **Goblins**

パッド系とS E的な音が混じったシンセ・S F X音
音をのばしている間、音が変化し続ける変わった音。

- **Echo Drop**

やまびこのように音が広がるシンセ・S F X系の音
人の声を模した音で使いやすい音になっている。

- **Star Theme**

名前と音があまり一致しにくいシンセ・S F X音
重めの音で使い勝手は普通。

8. ドラム

ドラムについてはやっている人もいそうなのであまり参考にならないかと思います。(私の知識が間違っているかもしれないし)

なので、ドラムは各部分の特徴と、DTM特有のドラムにはない音についての説明をしていこうと思います。

・ハイハット

クローズ、オープン、ペダルという三種類の方法があるシンバル。もちろん一つの部分で3つなのでこの3種類を同時に鳴らすのは出来ません(もちろんMIDIでなら可能、ただメリットはないと思う)

おもにリズムをきざむのに使われ、メトロノームの変わりとしても使われている(らしい)。

基本的にはクローズで、オープンはアクセントをつけたい時、ペダルはクローズの変わりに使われるものですが、実際はオープンの時の音を止めるのに使うようです。

・バス・ドラム

足でペダルを踏む事により音をだすドラム。

「キック・ドラム」とも呼ばれる。非常に低い音で響き役割としてはアクセントとなる部分で鳴らすようです。

・スネア

ドラム系で最も目立つ音が出る。

上記の二つとあわせて、ドラムでは重要な部分である。

アクセントを使うのに使われる部分でハイハットとあわせるといい（らしい）です。

サイドスティックと呼ばれる音の出し方があり、これはスネアの縁を叩くことによって固い音を出す事が出来ます。

・タムタム

上記3つに比べると使用頻度の低い部分

基本的には叩かず、リズムに彩りを出したい時に使われる。

フレーズとフレーズの間でタムタムを鳴らす事を

「フィルイン」というらしいです。

- ・クラッシュ・シンバル

非常に強い音のでるシンバル

曲のフレーズの境目や曲の終わりに叩きアクセントをつけるのに使われるシンバルのようです。

- ・ライド・シンバル

クラッシュ・シンバルとは逆に弱く使うシンバル

規則正しいリズムを刻むのに使われる部分で「ジャズ」等ではこれを使う事が多いようです。

- ・チャイニーズ・シンバル

中国で使われていたシンバルで、少し濁った音が特徴音が変わっているので全ての曲に使うのは難しい部分。

「クラッシュ」、「ライド」の両方の使い方が出来る。

- ・ スプラッシュ・シンバル

クラッシュ・シンバルと同じ役割で使われる部分で、クラッシュ・シンバルよりは音が控えめです。

クラッシュの音を使いすぎると嫌味になるので、その際に使われるようです。

↓ここからは実際のドラムにはない音を説明します。

- ・ タンバリン

・・・説明の必要のないもの、文字どおり誰でも見た事ある楽器である。非常に軽い音で、使い道は・・・

- ・ カウベル

文字どおり牛につけるベルの事（楽器の場合少し加工して使う）。間の抜けたような音が特徴で「ラテン音楽」で仕様される。

- ・ ヴィブラスラップ

説明しにくい形のした楽器。

「カ~~~~」という独特の揺らぎをもった音で
昔のアニメソングやバラエティの効果音などで使用されて
いたこともあるらしい。普通の曲での使い道はまずない

- ・ ボンゴ

二つの大きさの違う打楽器で構成された楽器
キューバの民族楽器で、ラテン音楽で使用されているが、
今では普通の音楽でも使用されることがある。

- ・ コンガ

ボンゴと同じキューバの民族楽器
仕様もボンゴに似ており、ラテン音楽で仕様される。

- ・ティンバル

スネアに似た打楽器、しかしどちらかというとタムに近い音を出す。主にラテン音楽で仕様されるもよう。
ただ上記の二つと違って使い道は広くない。

- ・アゴゴ

甲高い音が特徴の金属で出来た打楽器
主にラテン音楽、特にサンバで仕様されている。
低い音、高い音を交互に叩いて使う。普通の曲では使わない。

- ・カバサ

マラカスのような楽器で、主に南米で使われている。
(多分ブラジル?) 上と同じで普段は使わない。

- ・マラカス

用途はカバサと同じ楽器
ただし、上は南米圏で、こちらはマンボのようなスペイン圏で使われている。

- ・ホイッスル

組み体操などで聞いた事のあるような笛の音。
サンバなどで使用される。混ざりにくい音なので普段は
使わない（使えない）です。

- ・ギロ

洗濯板みたいなギザギザした部分に棒をこすって音
を出す楽器。ラテン音楽で使用されている。使い道は・・・
金属で出来たメタルギロというものもあるみたいです。

- ・クラベ

ラテン音楽でリズムの構成に使われている楽器
（メトローム？）あまり使い道はないです。

- ・ウッドブロック

木魚を楽器にしたもの（らしい）で、軽い音が特徴
使ったことがないので使い道は分かりません。

- ・クイーカ

ブラジル、主にサンバで使われる打楽器でかなり独特な音を出す。普段はまず使いません。

- ・トライアングル

タンバリンと同じで説明不要のあの楽器である。高い音が特徴で、以外と使い道があったりする（らしい）

- ・シェイカー

「サッ」という短い音が特徴の楽器マラカス等と使い道は同じでラテン音楽で使用される。

- ・スルド

ブラジルの打楽器で、サンバで使用される。バスドラムのような役割を持っておりアクセントをつけるのに使用される。
Windows 付属音源では和太鼓っぽくも聞こえる。

9. 民族楽器

あまり詳しくは知らないですが出来る限り解説していきます。あと音域については知りません（すみません）

ちなみに、余談ですが和楽器があまりないのは日本の協会が
そうゆう事をしないように止めているからだそうです。

・シタール

インドの弦楽器で、もちろんインド音楽で使われる
基本的には高めの音で鳴らされているようです。

・バンジョー

アフリカ系アメリカ人が作った弦楽器でどちらか
というと軽い音が鳴る。民族的だがカントリー音楽のような
響きもあり、以外と使える音である。

- ・ 三味線

日本の弦楽器で、揺らぎのある独特の響きが特徴
もちろん日本的な音楽で使われている。ポップ系は・・・

- ・ 琴

日本の弦楽器で、地面において使う。
かなり昔からある楽器で、三味線よりも優雅な曲にあう。

- ・ カリンバ

見たことある人はあると思うアフリカの楽器
無数の金属の棒を指ではじいて音をだす楽器である。
オルゴールの元となった楽器とも言われており
うまく使えばそのような響きに出来るかもしれません。

- ・ バグパイプ

スコットランドのものが有名な楽器
すこし濁りのある音が特徴。主張してくる音なので
メロディーとしての使用が多い。

- ・フィドル

民族楽器として使うヴァイオリンのことである。

基本てきにはソロで使う事が多い。

- ・シャナイ

インドの笛のような楽器（らしい）

チャルメラのような間の抜けた音がする。

Windows 付属音源だとバグパイプっぽくも聞こえる。

民族楽器についてはこれで終了です。

本当はもっとたくさん存在するのですが、これ以外の民族楽器になると、専用の音源にしか収録されていないことが多くあり、私自身が知らない楽器も多くあります。

なので、Windows 付属音源にある民族楽器についてのみ説明させていただきました。

他の民族楽器の音が欲しい場合は後で音源を紹介していこうと思いますので、そちらを参考にしてください。

10. その他

楽器というよりは効果音についての説明になります。

・ギターノイズ

ギターの弦をこすった時の音、多分効果音系では一番使い道のある音。ギターの知識のある人が使うとギターがとてもしリアルになる。

・ブレスノイズ

息を使った楽器の時の息の音。ギターノイズと違いあまり使うことはない。

・自然の音

波の音や、風の音、雷の音などのこと。普通の曲ではまず使わないが、加工すればゲームの効果音にできたりする。

- ・ 動物の鳴き声

そのままの音である。使い道もかなり難しい

- ・ 生活での音

電話の音やドアを開けた音などが入っている

こちらは加工すれば意外と使えたりする。

- ・ 乗り物の音

車の音や電車の音のこと。

音楽の中に背景描写を入れる時に使える（と思う）。

- ・ 人の声

歓声や足音などの音。

これを利用するとライブ感を出したりすることが出来る。

（実際に使っているプロの人がいる。メチャクチャうまい）

- ・ 本当に効果音

銃声や爆発音などの音。

これは意外と加工して使えたりする（特に Gun Shot）。

1 1 ・最後に

これで楽器の知識は終わりになります。

音域のことしか書いていなかったりして薄い内容になってしまいました。(単純な知識不足です。)

あと、音は実際に低音、中音、高音でそれぞれ鳴らして聞いてみるといいですよ。

次回からはエフェクトについての知識を書いていこうと思います。

(といってもエフェクトの種類と使い道くらいですが・・・)

ぶっちゃけていうとエフェクトは音を変化させるためのものなので。今回までの知識を使えば曲は普通に作れます。

いいから、作曲するだーっ！！

by.....巫女好きの人